

まちの縁側講座 in 安茂里小市 H25年9月5日

昨年度に続いて2回目の縁側講座です。地域包括センターや宅老所の職員さんもスタッフとなって、身近な課題解決に取り組みます。今年度は「小市地区」に限定してまち歩きを行いました。同じ安茂里の中でも、小市は少し外れにあるせいか、なんとなく離れているイメージです。旧道沿いに昔から暮らす人々や、築40年の市営の団地、畑だったところが多いの間にか住宅地が変わっているなど、新旧もふくめ、様々な暮らしのある地域です。

まち歩きは4コース、総勢65名が参加しました。

- ・遠回りしても歩きたい犀沢コース
- ・ぶらぶらレトロな町並み旧道コース
- ・元気だ！健脚園沖コース
- ・さくら満開小市団地コース

第一部 幻燈会



ひとりの心に幻をひろげ、別のひとりの心に燈をともし…先生の幻燈会は集まった人々に絵本の一場面やまちづくりの生きのいい現場の様子を次々と映し出し語りかけるものです。



幻燈のメニュー

「エンガワ」になったバス

—絵本—

多世代がまざりあう居場所づくり

—まちの縁側 GOGO 名古屋市東区

ヒトコトモノのつながりの場づくり

—多様なまちの縁側をはぐくむ長野市

皆が安心して住み続けられる団地再生

—武蔵野緑町のパークタウン

第二部 まち歩き

幻燈会で、「縁側を見るめがね」をもらったみなさん、いざ、まちに出てみると…今まで気づかなかったことに気がきます。思いかけない人にも出会います。今回はどのコースも「まちを元気にしたい」という思いを持った人たちと出会うことができました。



犀沢公園を愛する会さんは、草で荒れていた犀沢周辺を整備し憩いの場にしようとして区民から句を募集し看板にして思いを発信しています。



小市団地には、自発的なグループ「あそび隊」がありました。サロンを開いたり朝市などのイベントも行っています。旧道コースでは、六地藏さんをお守りする地域の人に出会いました。園沖団地は、団地ができた当初から勢年隊を作って、日頃の支えあい活動をおこなっています。最近、畑はじめて、縁側？になっているようです。

第三部 ワークとまとめ

まち歩きで発見したこと、気づいたことをグループ内で話し合います。



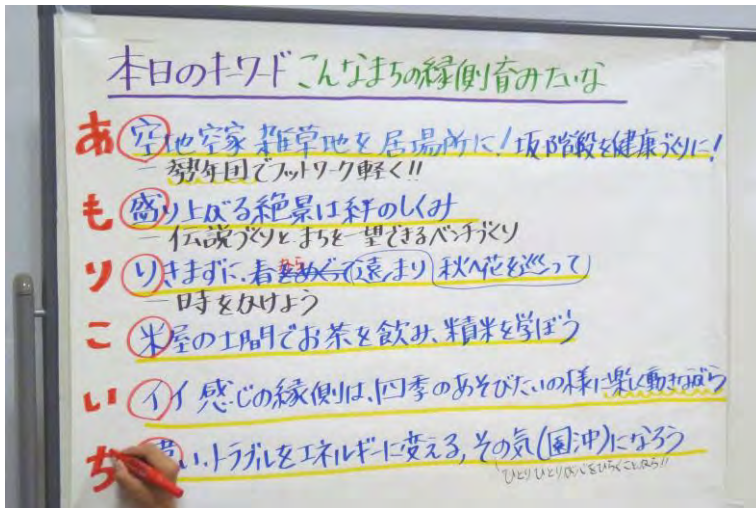
発表では、こんな風にしたらいいなという提案もたくさん出され、地域の皆さんのやる気を起こしました。今後が楽しみです。

—延藤先生まとめ—

延藤先生のお得意！頭韻要約法によって、安茂里小市地区の今後のヒントが出されました。頭を繋いで「あもりこいち」のキーワードが浮かび上がると会場から歓声が上がりました。

本日のキーワード 『こんなまちの縁側育みたいな』

- あ** 空き地、空家、雑草地を居場所に！坂、階段を健康づくりに！
—勢年団でフットワーク軽く！！
- も** 盛り上がる絶景は絆の仕組み
—伝説づくりと、まちを一望できるベンチづくり
- り** 力まずに春から秋へ花を巡って遠まわり
—時を駆けよう
- こ** 米屋の土間でお茶を飲み、精米を学ぼう
- い** いい感じの縁側は、四季の遊びたいのように楽しく動きながら
- ち** 違い、トラブルをエネルギーに変える。その気(園沖)になろう
ひとりひとりが心を開くことから



講座を終えて～アンケートから～

いつも、どこでも「えんがわ」をイメージして目と耳、心を全開にして生活したいですね
天国と呼ばれたバスの話が縁側づくりのヒントになりそうで印象に残りました
団地の建て直しの事例に驚きました。住民の方で大きく動くことのすごさを感じました
様々な場所、人、どんな所でも縁側になる可能性があるのだなと感じました
地域の人々の輪がとても大きな力になるんだなと感じました
地域の祭りに参加することから始めたいと思いました
あらためて自分の地域を見つめなおしてみたい。えんがわをつくっていききたい。
まずは自分の地域のいいところなど発見するところから始めたいと思いました
自分の地域を歩きましたが、知らない場所、思いがけない所、発見がいっぱいでした
良かった。困ったことを前向きに、が縁側だと思った